

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネット
ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

単元株式数 100株

公告方法 電子公告の方法により行います。
(当社ホームページURL <http://www.manac-inc.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合、
日本経済新聞に掲載する方法で行います。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部



<http://www.manac-inc.co.jp/>

UD
FONT 見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



第76期のご報告

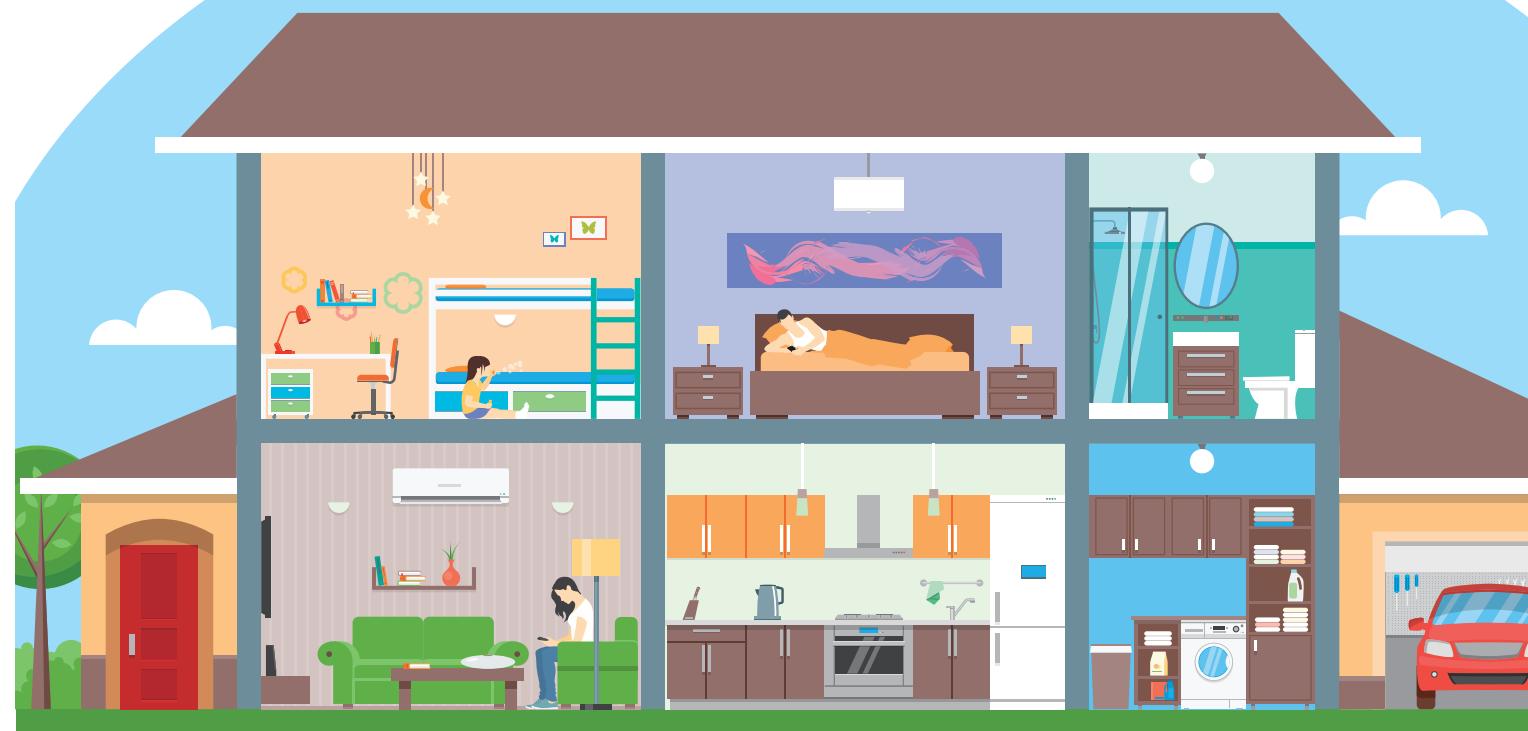
株主通信

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日

マナックは、化学をベースに、技術と知識の融合により

先端技術産業が求める機能を開発・提供する

未来志向型モノづくり企業を目指します。



証券コード: 4364

ごあいさつ



代表取締役社長
村田 耕也

第76期の株主通信をお届けするにあたり、株主様をはじめとする関係者の皆様の日ごろのご支援とご協力に對しまして厚く御礼申し上げます。

このたびの新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けて最前線で日々奮闘されている医療関係者の方々をはじめとした皆様に心からの感謝の意を表します。マナックは、このような状況の中で少しでも感染拡大防止にお役に立てるために、引き続き工場のある広島県福山市をはじめとした地域の自治体や医療機関、教育機関に当社製造の抗菌剤「Etak®セーフティーコート®」を寄贈させていただきました。今後も安定した生産体制でより多くのところに製品供給ができるよう、努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動の先行き不透明な状況が続いておりますが、中期計画2021「Challenge for Change ~変革への挑戦~」の2年目が終わった現在、利益面では当初の予想より順調で、2期連続の増配ができました。引き続き中期計画2021達成のため、「Challenge for Change」の動きを加速いたします。また、今後も皆様により当社グループのことを知っていただくための情報発信をしていく所存でございます。

株主の皆様におかれましては、変革に挑戦する当社グループに今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症には引き続きご留意いただきご自愛ください。株主の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

企業理念

『スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献する』
～進化する技術、そして進化する人間をめざして

経営理念

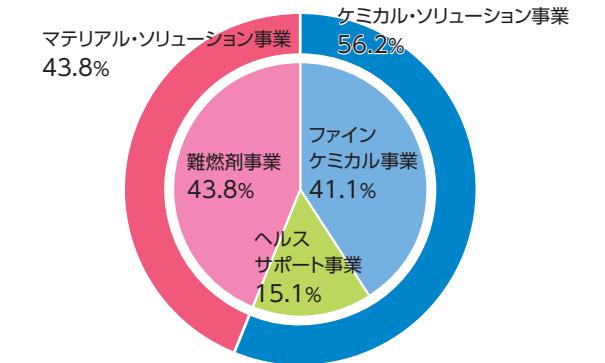
- 1 「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」をめざす
- 2 英知と勇気をもって能力を最高に発揮し、企業価値の最大化をめざす
- 3 明日の未来社会から注目される会社をめざし、常に『革新』

2021年3月期において、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、営業活動が制限される中、国内外の市場における顧客への取引深耕にグループが一体となり、積極的に取り組んだ結果、売上高及び利益ともに前期比で増加いたしました。

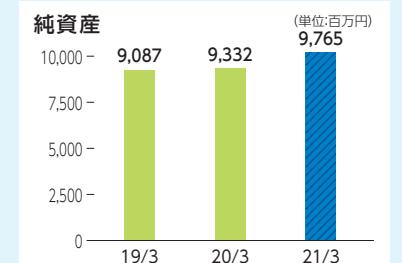
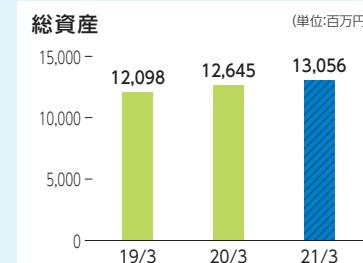
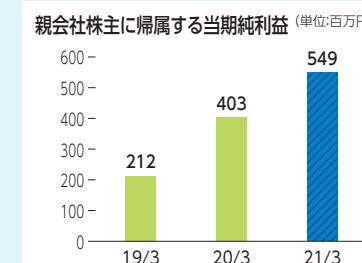
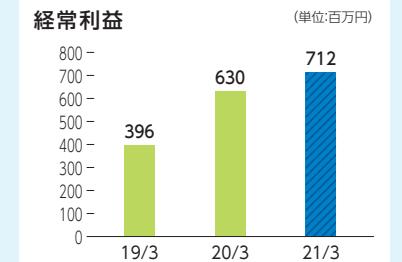
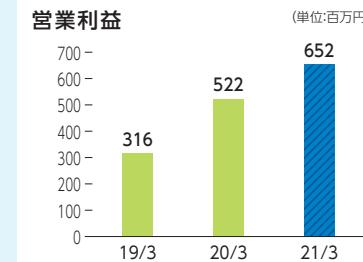
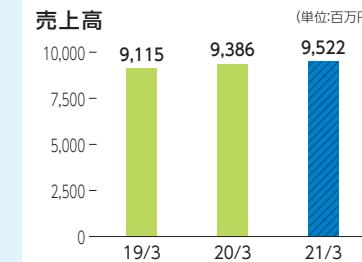
この結果、売上高は9,522百万円(前期比+136百万円)、営業利益は652百万円(同+130百万円)、経常利益は712百万円(同+81百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は549百万円(同+145百万円)となりました。

セグメント別では、ファインケミカル事業の売上高は、3,916百万円(前期比△176百万円)、難燃剤事業の売上高は4,167百万円(同△18百万円)、ヘルスサポート事業の売上高は1,438百万円(同+331百万円)となりました。

●セグメント別/事業部別売上比率



○連結財務ハイライト



創立80周年に向けた変革への挑戦

積極的なグローバル展開や
産学協業によるイノベーション、
スマート化による業務効率向上を進め、
「マナック・ケミカル・パートナーズ」へと進化、
「Challenge for Change」を加速する。

3年連続増収増益を更新し、
中期計画最終年度に向けてさらなる成長を目指すマナックグループ。
2021年3月期の業績総括と持株会社体制への移行で目指す未来
持続可能な社会づくりにおける姿勢についてお伝えします。

中期計画の位置付けについて お聞かせください。

2019年度より始まった中期計画は、創立80周年となる2028年度を見据えた長期ビジョンの第一段階といえます。2028年度までに「個々の社員が情熱と誇りを持ち、多様性を認めあい活き活きと働く企業」そして「製品で社会に貢献し、グローバルに展開する開発志向型の高収益企業」を目指し、2019～2021年度の本中期計画、2022～2024年

度の次期中期計画、2025～2028年度の創立80周年期間と段階的に改革を進めていきます。本中期計画のローガンに「Challenge for Change～変革への挑戦～」を掲げ、ありがたい企業像へと成長すべく、積極的に挑戦を重ねる期間として位置付けました。グローバル、アライアンス、リスクテイクの3つをキーワードに、海外への進出拡大、企業や大学との協業によるイノベーション、持続可能性を高めるための積極的投資を中心に計画を実行しています。

2021年3月期の概況は いかがでしたでしょうか。

中期計画2年目となる当期において、売上高は当初の計画よりも下回りましたが、連結経常利益は目標の4.8億円を大きく上回る7.1億円となり、3年連続の増益を達成しました。最終年度は、中期計画通りの連結経常利益を見込んでいます。その前の期に引き続き経常利益率も7.5%まで上昇し、高収益企業を目指して順調に変化していると考えています。

主要要因としてあげられるのは、当社と広島大学大学院医系科学研究科(歯)の二川浩樹教授で共同開発し(特許取得)製品化した固定化機能を持つ抗菌剤「Etak®(イータック)」について、引き続き新型コロナウイルス関連で需要が高まったことです。増産体制が整った2020年5月以降、市場に安定的供給を行っており、さらなる需要増加にも対応可能な状況です。

3つの事業の業績を 詳しくお教えてください。

ヘルスサポート事業は、前期と比較して3.3億円の売上高増加となりました。先述のとおり、「Etak®(イータック)」の需要が大きく増したことが主な要因で、透析用原料は前期と同程度の売上高となっています。

一方、受託生産が中心であるファインケミカル事業については、中期計画に掲げているがん関連医療用医薬品原料は順調に進捗したものの、全体では売上高が減少しました。主要要因としては、新型コロナウイルスの影響でお客様における研究開発活動が一部遅延したことによるものです。これら2つの事業を担う「ケミカル・ソリューション事業部」全体の売上高は、ヘルスサポート事業の伸びにより前期比1.5億円増加しました。

難燃剤事業については、上期は新型コロナウイルスの影響を受け、需要が減少しましたが、下期から回復基調となりました。

中期計画の進捗について お聞かせください。

当期はさらなる飛躍を目指してグローバル化を推進したほか、人材や設備に対する投資を積極的に行いました。事業成長のための重要施策であるグローバル展開については、中期計画のがん関連医療用医薬品原料を予定通りに出荷できました。そのため、昨年度に引き続き海外売上比率18%を越えており、来年度は中期計画目標の20%弱を達成できる見込みです。ヨーロッパ諸国ではヨウ素化合物など医薬関連の製品、アジアでは難燃剤を中心に、海外での売上高が大きくなっています。特にヨウ素化合物は新型コロナウイルスの影響が限定的で、今後もさらなる成長が見込まれます。

設備投資としては、業務効率の改善を目指し、基幹システムの更新を進めました。工場に関しては、生産工程の一部自動化に向けた取組みを実施しております。なお、生産能力(医薬関連)増強工事が完成し、2021年4月から本稼働を開始しているため、今後は業務効率化による業績への貢献を見込んでいます。



変革への挑戦の精神で 高収益企業を目指すとともに、 持続可能なビジネスモデルで 未来志向型のモノづくりを進めたい。



人的投資については、社員が互いに多様性を認め、活き活きと働く企業であるために、働きやすい環境づくりに注力しました。働き方改革プロジェクト発足による社員の改善要望の吸い上げ、処遇の向上、人事・評価制度の整備のほか、体系的な教育制度の導入や、福利厚生さらなる充実を図りました。

今後の取り組みや 目標をお聞かせください。

中期計画の最終年度へ向けた取り組みに加え、2022年度より開始予定の次期中期計画についても議論を始めています。SDGs(持続可能な開発目標)や企業理念に即した取り組みで、長期ビジョンの達成を目指します。

今後成長を見込む分野としては、医薬品原料・治験薬中間体、5G関連製品、新規難燃材料があります。特に医薬品原料と治験薬中間体の2品目が伸びると予測され、医薬関連品目の収益性がさらに向上すると期待できます。医薬品原料についてはがん関連製品が生産されるほか、治験薬中間体についても、世界各国で治験段階に入っており、ここ1、2年以内には医薬品申請されるものと考えています。5G(第5世代移動通信システム)に関連したポリイミド樹

脂原料についても、当期後半から需要が高まっています。新規難燃材料については郷分ラボ(2020年4月開設)、富山ラボ(同年6月開設)で他企業や大学との共同開発を進めている段階です。次期中期計画において実を結びと期待できます。

また、知名度向上を目指し、対外発信をさらに強める予定です。地元への貢献を通じてマナックブランドを知ってもらうため、2020年1月には、工場を構える広島県福山市内の医療施設や教育施設に自社製品の「Etak®セーフティコート®」を寄贈しました。そのほか、福山市芦田川緑地かわまち広場公園施設(芝生広場)のネーミングライツを取得し、呼称を「マナックかわまちふれあい広場」に設定するなど、地元と結びついた企業づくりを目指しています。加えて、ニューノーマル時代に適した営業活動、世界へ向けたブランド発信として、2021年4月よりオウンドメディア「Chemia(ケミア)」を公開しています。「探したい化合物が必ず見つかる」をコンセプトに、製品や技術・特許、安全・地域貢献などさまざまな角度からマナックをアピールするサイトで、国内外を含めた新たな営業先の獲得も期待できます。

SDGsや環境保護に対して、 どのようにお考えですか。

持続可能な社会を形成するためには、自社製品を通して17のゴール達成に貢献するだけでなく、社員一人ひとりが「持続可能なビジネスモデルを形成するにはどうすればよいか」という、SDGsに根ざした考えを持つことが大事です。社内報などを活用して社員の意識改革を進めるとともに、SDGsを根幹に置いた企業活動を行い、社会貢献性と収益性をともに追求しています。

環境に寄与するための具体的な活動としては、植物を原料とした新規難燃材料の開発を目指してバイオマス関連の研究が進行中です。都市を火災から防ぐ役割に加えてCO₂削減効果も期待でき、SDGsの達成に大きく貢献することが予想されます。また、湘南ラボ(2020年11月開設)にて、マナックの技術の中核を担う有機合成に関する新技術開発を進めています。その一例として、現在、臭素化ではハードルが高いとされるフロー合成法の研究を行っております。この手法を全面的に導入できれば、生産活動に伴う廃棄物やCO₂の排出を大幅に削減できると考えます。

持株会社体制への移行について、 株主の皆様へ向けて メッセージをお願いします。

企業価値及び経営効率を向上させ、株主の皆様からの期待に持続的に応えるには、今まで以上に迅速かつ果断に挑戦し続けることが必要となります。今期は中期計画の最終年度になりますが、コロナ禍において、先の見えない状況の中、マナックグループとしての2028年のありたい企業像をいち早く、より強固に実現するためにも、持株会社体制に移行することが最適であると判断いたしました。今後は「マナック・ケミカル・パートナーズ」を中心に、「Challenge for Change」を更に加速します。

中期計画が順調に進み、当期は2回増配、年間の配当金は15円となりました。2000年12月、東証2部上場時の配当金は7円50銭でしたが、2019年度に中期計画を開始して以来増配を続けています。引き続き中期計画を達成できるよう、社員一同尽力いたします。IR活動にもさらに力を入れ、当期より開始しましたオンラインセミナーを今後も定期的に開催いたしますので、ぜひご覧ください。

配当関連情報

当社の株主還元方針

当社は、長期的観点からの事業収益の拡大と株主資本利益率の向上を通じて、長期的な企業価値の向上を図ることが最も重要な経営課題と認識しております。

配当につきましては、株主の皆様への利益還元を重要な資本政策の一つと位置付け、従来より長期的・安定的な配当水準の維持に努めることを基本方針としており、財務状況並びに中期計画の達成度合いを総合的に勘案し、利益配当額を決定しております。

第76期の配当金

第76期の期末配当金につきましては、2019年に公表いたしました中期計画の達成度合いを勘案し、当初予定から2.5円増配することを決定し、1株当たり10.0円とすることに決定いたしました。これにより、第76期の年間配当金は、中間配当金を加え、15.0円となりました。



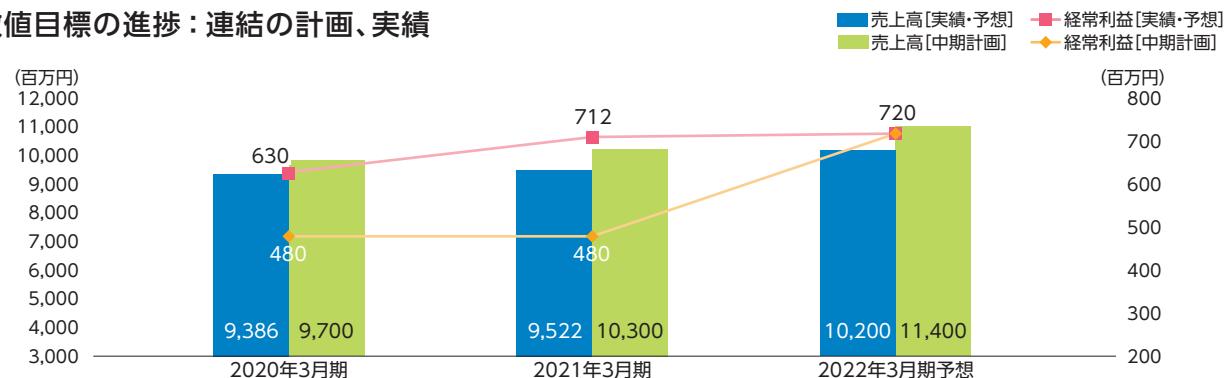
(注) 2018年3月期期末配当金には、創立70周年記念配当5円を含んでおります。

当社は、2019年5月に中期計画を公開して以来、経営陣・社員と一丸となり、変革へ挑戦する取り組みを行ってまいりました。新型コロナウイルスによる経済活動への影響が見通しづらい中ではありますが、2年目を終えた現在、利益面では中期計画を上回る水準で業績推移しております。その中期計画2年目の進捗のご報告をさせていただきます。

中期計画その他指標の進捗状況

	中期計画目標	実績
ROE (連結)	2020年3月期：3.8% 2021年3月期：3.7% 2022年3月期：5.1%	2020年3月期：4.3% (目標比+0.5%) 2021年3月期：5.6% (目標比+1.9%)
投資金額	期間中合計：19.5億円 内訳：基幹システムの更新：3.5億円 生産能力増強(医薬関連)：7億円 維持投資3億円×3カ年：9億円	有形固定資産の取得金額：合計：12.7億円 2020年3月期：5.6億円 2021年3月期：7.1億円 (リース費用、修繕費を含まず)
海外比率 (間接輸出含む)	2019年3月期実績：15%弱 2022年3月期：20%弱までに高める	2020年3月期：16% 2021年3月期：18%
採用人数 (新卒中途合計)	期間中合計：25名	2020年3月期：9名 2021年3月期：14名 合計23名

数値目標の進捗：連結の計画、実績



生産能力(医薬関連)増強工事完成

中期計画に沿って、がん関連医療用医薬品原料の需要増加に対応する生産設備の増強工事が完成しました。

この設備増強により、医薬関連生産能力の向上だけでなく、例えば電子材料、その他ファインケミカル分野における多品種少量製品の新規開発案件についても積極的に取り組むことが可能となります。2021年4月から本格稼働を開始しています。

この投資では、タブレット端末による生産管理など、生産工程の一部自動化に向けた取り組みを開始しています。



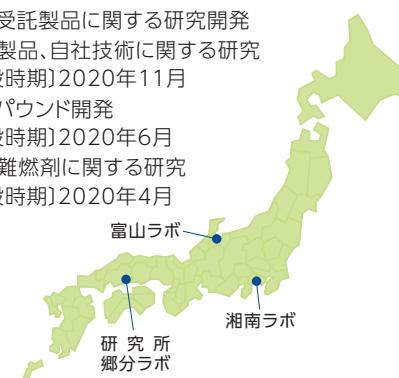
研究拠点の新設

難燃剤事業における事業領域の拡大と自社製品・技術開発の活性化を目的として、中期計画2年目に郷分ラボ、富山ラボ、湘南ラボの3つの研究拠点を新たに開設いたしました。

これらの研究開発環境の整備とともに、新しい事業及び自社の強みの創出に挑戦していきます。

現在の研究体制：

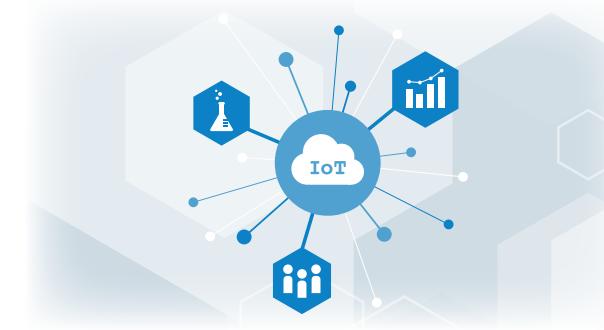
- 研究所：当社のメインラボ
主に受託製品に関する研究開発
- 湘南ラボ：自社製品、自社技術に関する研究
[開設時期]2020年11月
- 富山ラボ：コンパウンド開発
[開設時期]2020年6月
- 郷分ラボ：新規難燃剤に関する研究
[開設時期]2020年4月



ICT/IoT化への取り組み

2020年3月期に更新した基幹システムの運用に伴い、各種業務の見える化が実現され、生産性の向上に繋がっています。当期はさらにクラウドを利用した業務のオンライン・ペーパーレス化、人事管理システムの導入などの取り組みも進めております。

また、生産能力(医薬関連)の増強工事完成により、タブレット端末を利用した生産管理、Wi-Fi環境の整備など一部生産自動化に向けた取り組みを実施しております。



1 Etak®セーフティコート®



「Etak®」は、当社と広島大学大学院医系科学研究科(歯)二川浩樹教授で共同開発し製品化したエトキシシラン系の抗菌・除菌成分です。乾燥後も抗菌・抗ウイルス効果が1週間程度持続する特徴があり、特定の菌やウイルスから環境を守ることが期待できます。



自社製品「Etak®セーフティコート®」の紹介

当社では、Etak®成分を配合した業務用除菌・抗菌コーティング剤「Etak®セーフティコート®」を製造・販売しています。

効果、特徴

噴きかけた直後はアルコールの効果で除菌。アルコールが乾いた後にEtak®が噴きかけたモノの表面に固定化しコーティングするため、後から菌やウイルスが来ても1週間抗菌効果を持続します。

身の回りのいろいろなウイルス・菌に働く

抗菌効果が1週間持続

使い方

テーブル、イス、ドアノブ、手すり、衣類、シーツなどに噴きかけるだけで、Etak®の抗菌バリアが約1週間続きます。

※全てのウイルス・菌に効果があるわけではありません。使用状況により、持続力は異なります。
 ※「Etak®セーフティコート®」は業務用除菌・抗菌コーティング剤のため、一般消費者向けの販売は実施しておりません。
 ※「セーフティコート®」は、マナック株式会社の登録商標です。「Etak®」は株式会社CampusMedicoの登録商標です。

販路拡大への取り組み

既存設備による生産拡大の調整を行い、需要の増大に合わせて製品の安定供給を可能にしました。増加した除菌・抗菌需要に対し、商社との連携や特設ホームページサイトの公開、展示会出展・広告掲載等の広報活動を含め、引き続き「Etak®」及び「Etak®」を含有した自社製品である「Etak®セーフティコート®」拡販活動を行います。



「Etak®セーフティコート®」の拡販状況

黄色：販売済み都道府県



2 働き方改革への取り組み

近年、働き方改革に対する関心が年々高まっています。当社では、社員エンゲージメントの向上及び定着化を図るため、処遇の向上、人事・評価制度の整備のほか、体系的な教育制度の導入や福利厚生さらなる充実など、多様な働き方を推進する活動を行っております。また、社員のメンタルヘルスの改善、自己啓発・スキルアップ環境の整備も取り組んでおります。

これらの取り組みを実施することによって、最終的には中期計画で掲げた「個々の社員が情熱と誇りを持ち、多様性を認め合い生き生きと働く企業」というありたい企業像の達成に近づけると考えております。

3 ホームページChemia(ケミア)運用開始

当社が強みとする化合物情報や関連製品・特許情報、また工場の安全操業や地域貢献の取り組みを自社の特設サイト「Chemia(ケミア)」にて記事掲載しております。

コロナ禍で物理的に移動できない中でも、国内・海外の顧客に対して、当社の得意とする化合物の受託研究につき、継続的に情報発信いたします。

Chemia
探したい化合物が必ず見つかる



4 マナックとSDGsの関連性

近年、グローバルの経営環境が大きく変化中、どこの国でも共通で抱える課題について、関心が高まっています。国際連合の提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」が大きく注目される中、当社の開発製造活動は難燃剤や抗菌剤、医薬品原薬といった製品をもって、SDGsに貢献しております。

今後も環境に配慮した製品やより人々の生活に役立つ製品の開発を通じて、SDGsの目標達成及び国際社会への貢献をしていきます。

■マテリアル・ソリューション事業

難燃剤及び難燃材料に関連するビジネス

・断熱材用難燃剤



・サンタリー製品や冷蔵庫等家電製品用難燃剤



・下水道の水処理薬剤



■ケミカル・ソリューション事業

医薬品や電子材料の中間原料に関連するビジネス

・医薬品の原薬や中間体、人工透析薬剤用原料



・抗菌剤(Etak®)



・ポリイミド樹脂、有機ELの原料



■全社共通



グリーンエネルギーによる生産活動



人材雇用機会の創出



産学提携などの研究開発活動



総合排水処理施設及び廃棄物処理の整備



ボイラーの燃料転換、電動フォークリフトへの転換

特集：当期の主な取り組み

5 新規難燃材料(難燃WPC)の開発状況

中期計画に則り、持続的な利益創出のための「基盤構築」に向けた取り組みを実施しております。難燃剤事業では、これまでの難燃剤(添加剤分野)から、材料分野に踏み込んだ難燃材料の研究開発に注力しております。

例えば難燃機能を含む新しい機能を持たせたWPC(Wood-Plastic Composite)の開発に挑戦しております。アライアンス先との共同開発も視野に入れ、機能性の高い材料の開発、販売を目指しています。



WPC (Wood-Plastic Composite) とは

樹脂に木粉を混ぜた複合材料です。軽量で強度があるという特長があるほか、木質資源を活用するので石油使用の削減にも貢献できます。現行のWPCはデッキ材などのエクステリア建材に主に利用されていますが、燃えやすいので用途が限られています。これを難燃化にすることによって、安全性が高まり用途の拡大が期待できます。



「難燃WPC」の開発製造活動が貢献できるSDGsの目標

- 原料となる木粉は間伐材等を使用することができるため、建材・家具に向かない木質資源の持続的利用に貢献できます。
- 木質資源を活用することで石油使用量を削減できます。
- 従来の難燃材料と異なる性質を持っているため、様々な応用が期待できます。

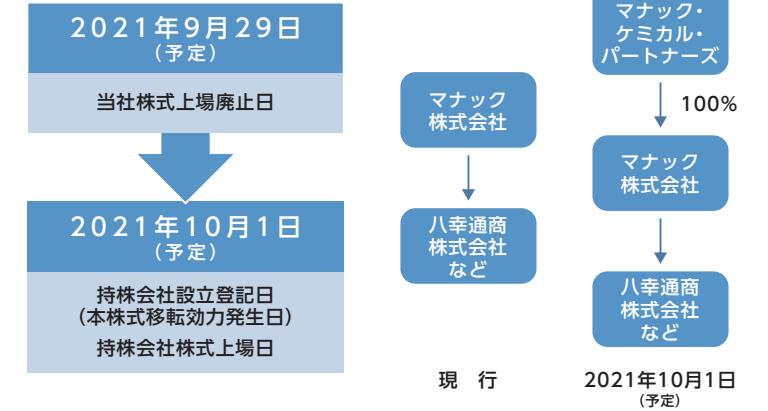


単独株式移転による持株会社の設立

当社は、2021年5月11日開催の取締役会において、2021年10月1日(予定)を期日として、単独株式移転(以下、「本株式移転」といいます。)により、持株会社(完全親会社)である「株式会社マナック・ケミカル・パートナーズ」(以下、「持株会社」といいます。)を設立することを決議いたしました。

※当社を株式移転完全子会社、持株会社を株式移転設立完全親会社とする単独株式移転です。
 ※本株式移転が効力を生ずる時点の直前時における当社普通株式を保有する株主の皆様に対し、その保有する当社普通株式1株につき、持株会社の普通株式1株を割当交付いたします。
 ※新たに設立する持株会社「マナック・ケミカル・パートナーズ」の株式について、東京証券取引所市場第二部への新規上場(テクニカル上場)を申請する予定です。

本株式移転の日程



連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表 (単位:百万円)

前期末 (2020年3月31日)		当期末 (2021年3月31日)	
資産合計	12,645	資産合計	13,056
流動負債	3,194	流動負債	3,185
固定負債	117	固定負債	104
負債	3,312	負債	3,290
株主資本	9,330	株主資本	9,496
その他の包括利益	1	その他の包括利益	268
累計額	1	累計額	1
純資産	9,332	純資産	9,765
現金及び預金	1,651	現金及び預金	1,651
流動資産	8,047	流動資産	7,610
有形固定資産	2,468	有形固定資産	2,978
無形固定資産	260	無形固定資産	238
投資その他の資産	1,867	投資その他の資産	2,229
固定資産	4,597	固定資産	5,445

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

当期 (2020年4月1日~2021年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△535
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の期首残高	972
現金及び現金同等物の期末残高	1,946

株式の状況

(2021年3月31日現在)

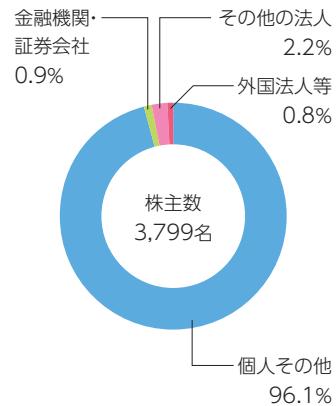
発行可能株式総数	23,200,000株
発行済株式総数	8,625,000株
株主数	3,799名

大株主(上位10名)

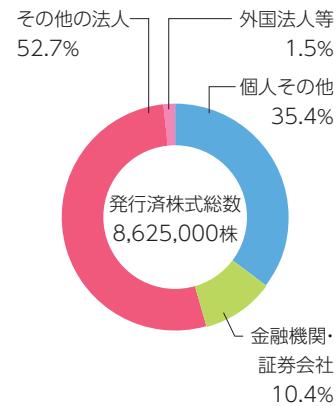
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東ソー株式会社	1,608	20.5
一般財団法人松永財団	1,340	17.1
株式会社広島銀行	322	4.1
杉之原 祥二	257	3.3
株式会社合同資源	200	2.5
マナック社員持株会	152	1.9
光和物産株式会社	121	1.5
中尾薬品株式会社	101	1.3
東洋証券株式会社	100	1.3
村田 耕也	97	1.2

(注) 1. 上記のほか、当社保有の自己株式が774千株あります。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主数別分布状況



株式数別分布状況



会社概要

(2021年3月31日現在)

社名	マナック株式会社 MANAC INCORPORATED
本社所在地	〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目8番4号 日本橋さくら通りビル6階
設立	1948年5月
資本金	17億5,750万円
従業員数	198名(グループ従業員数 237名)
事業内容	難燃剤、医薬品、高機能性材料、電子材料、 食品添加物など様々な分野の先端技術産 業に原材料を供給

役員

(2021年6月24日現在)

代表取締役会長	杉之原 祥二
代表取締役社長	村田 耕也
代表取締役専務	小林 和正
常務取締役	千種 琢也
取締役	亀崎 尊彦
取締役	相田 美砂子
取締役(監査等委員)	杉之原 誠
取締役(監査等委員)	内海 康仁
取締役(監査等委員)	本田 祐二
取締役(監査等委員)	豊田 基嗣

(注) 取締役 亀崎尊彦氏、相田美砂子氏、内海康仁氏、本田祐二氏及び豊田基嗣氏は、社外取締役であります。

主な事業所

本社 〒103-0027
東京都中央区日本橋3丁目8番4号
日本橋さくら通りビル6階
TEL: 03-3242-2561
FAX: 03-3242-2564

大阪営業所 〒550-0003
大阪府大阪市西区京町堀1丁目6番2号
肥後橋ルーセントビル9階
TEL: 06-7176-8573
FAX: 06-7176-8574

福山工場・研究所 〒721-0956
広島県福山市箕沖町92番地
※(登記上本店) TEL: 084-954-3330
FAX: 084-953-8523
FAX: 084-957-4370



郷分事業所・郷分ラボ 〒720-0093
広島県福山市郷分町
950番地の1
TEL: 084-951-2501
FAX: 084-951-2502



湘南ラボ 〒251-8555
神奈川県藤沢市村岡東2丁目26番地1
湘南ヘルスイノベーションパーク内

富山ラボ 〒933-0981
富山県高岡市二上町122
富山県ものづくり研究開発センター 開発支援棟内

子会社

社名 マナック(上海)貿易有限公司
本店 中国上海市長寧区仙霞路317号
遠東国際広場B棟1406室
事業内容 中国国内における化学品の輸出入業務

社名 八幸通商株式会社



本社 〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町2丁目7番6号
晴花ビル3階

事業内容 化学薬品の製造、販売

社名 エムシーサービス株式会社

本社 〒721-0956
広島県福山市箕沖町92番地

事業内容 倉庫賃貸

関連会社

社名 ヨード・ファインケム株式会社

本社 〒104-0031
東京都中央区京橋2丁目12番6号
東信商事ビル7階

事業内容 ヨード化合物の製造、販売